

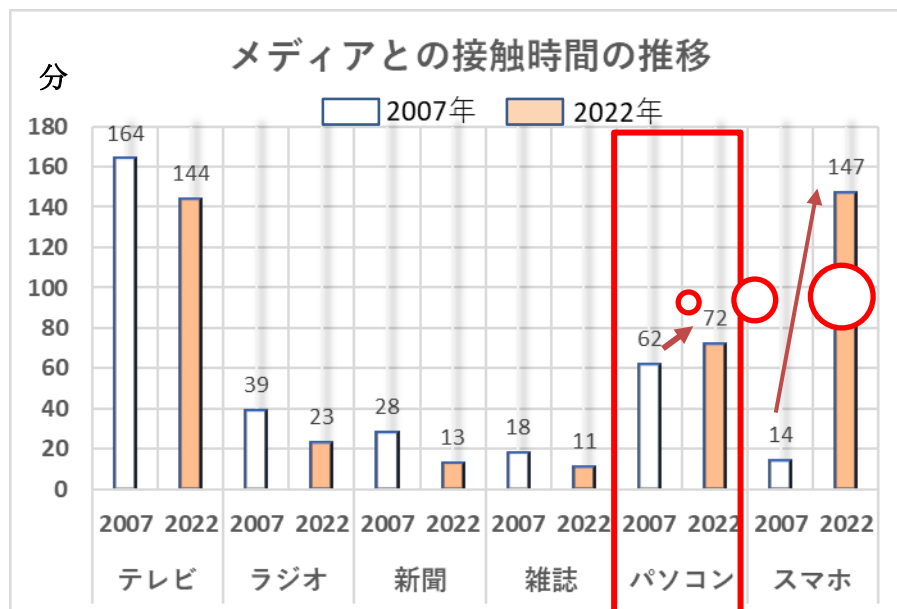
パソコンと上手に付き合う

パソコン、タブレットやスマホが日常生活の場で普通に使われるようになりました。古いリバイバル映画を見ていると、電話機が固定電話で玄関や居間に置かれているのが見られます。今はスマホをポケットやバッグに入れて持って歩く時代です。学校では生徒一人一台のタブレットが支給されて、教科書や参考資料をタブレットで見ます。キーボードで文字入力するのが当たり前になりました。下の図は、(株)情報堂メディア環境研究所の調査データです。私たちが日ごろ接しているメディアの一日の接触・利用時間で、2022年と5年前の2007年のデータをグラフに示したものです。

「テレビ」は相変わらず家庭の居間に置かれて一番接触時間が長いですね。しかし5年前よりは減少しています。ラジオ、新聞や雑誌の接触時間は年々減少しています。今年1月には、創刊100年を迎えた週刊朝日の休刊がニュースになっていました。

一方、図の右側のスマホは2007年に比べて約10倍に増えています。一日の利用時間は147分で平均2時間半を使っているようです。またパソコンはスマホの利用時間の半分ぐらいですが、5年前からは減少していません。パソコンの利用時間は増加して一日72分と1時間以上は使われています。

パソコンは一家に一台、メールにはいろいろな情報が送られてきます。ネットで情報検索するのが日常業務になりました。必要な旅行の情報や行き先の地図をプリントして利用できます。インターネットで旅行先の地図を調べたり、家計簿などに利用したり、パソコンとは気楽に付き合うのがよいのです。ときどきパソコンは言うことを聞いてくれずに動かなくなりますが、電源を入れ直すと、途中まで入力してデータも保存されていて再起動して、うれしくなります。パソコンとは愚直に付き合っていきたいですね。



スマホとの接触時間は大幅に増加していますが、パソコンとの接触利用時間も増加しています。